

# 令和6年度 心のネットワーク 特別号

## 大松だより

発行日 令和7年3月3日  
徳島市 大松小学校

学校評価に関わりアンケートでは多くの意見をいただき、ありがとうございました。学校で実施した子ども達のアンケートとともに結果のご報告をいたします。今回の結果をもとに、学校評価を行い、保護者の皆様と連携し、来年度からの学校運営に生かしてまいります。今後ともご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

### 学校評価結果

学校経営や教育活動に児童や保護者の声を反映するために、アンケート(学校評価)を実施しました。その結果は次のとおりです。

①とてもそう思う ②そう思う ③あまり思わない ④全く思わない  
肯定的回答(①+②) 単位(%)

こと	が	ら	①	②	③	④	肯定的 回答	R5
1	学校は、基礎的・基本的な学力が身につくような家庭学習を推進している。		11.9	75.8	11.5	0.8	87.7	↑ 79.3
2	学校は、学年に応じてタブレット端末や電子黒板等のICTを活用した学習の推進を図っている。		12.3	70.2	15.9	1.6	82.5	↑ 72.0
3	学校は、友達と協力して生活しようとする子どもを育てている。		25.4	69.8	4	0.8	95.2	↑ 90.7
4	学校は、子どもの人権教育を推進している。		18.3	72.6	7.9	1.2	90.9	↑ 89.3
5	子どもたちは、すすんであいさつできている。		17.9	38.5	41.3	2.4	56.4	63.5
6	子どもたちは、交通ルール(道路の歩行、自転車の乗り方等)を守っている。		9.5	58.7	29.4	2.4	68.2	76.4
7	災害時の児童引き渡し(「緊急時引き渡しカード」の使用)方法等について子どもと確認できている。		14.3	53.6	30.6	1.6	67.9	80.2
8	子どもたちは、家族や友達のためになることに取り組んでいる。		13.9	72.2	13.1	0.8	86.1	↑ 81.2
9	子どもたちは、思いやりのある言動がとれている。		15.5	71	12.3	1.2	86.5	↑ 82.2
10	子どもたちは、外で遊んだり、体を動かしたりするなど、運動を楽しんでいる。		28.6	53.6	16.3	1.6	82.2	↑ 77.4
11	子どもたちは、好き嫌いなくバランスのよい食事がとれている。		16.7	58.3	24.2	0.8	75	↑ 74.7
12	学校は、学校だよりやHP、メール配信等で適切に情報提供を行っている。		28.6	61.1	9.5	0.8	89.7	↑ 89.0

こと	が	ら	①	②	③	④	肯定的 回答	R5
1	学校に来るのが楽しみです。		54.4	37.2	6.2	2.2	91.6	↑ 86.4
2	ノートやタブレット端末等を用い、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。		37.6	46.8	12.7	2.9	84.4	↑ 80.7
3	授業中に先生や友達の話をよく聞いている。		40.0	48.7	10.3	1.0	88.7	88.7
4	授業中に自分の考えをまとめ、友達と伝え合っている。		35.5	43.6	17.7	3.1	79.1	↑ 75.6
5	忘れずに宿題をしている。		53.7	30.2	13.4	2.6	83.9	87.9
6	自分のよいところや友達のよいところがいえる。		50.8	33.6	12.2	3.1	84.4	84.6
7	困っている友達がいたら助ける。		61.2	32.6	5.3	0.7	93.8	↑ 77.5
8	自分からすすんであいさつができている。		50.6	33.8	12.9	2.6	84.4	87.7
9	学校のきまりや約束、週目標などを守って生活ができている。		36.9	46.5	14.1	2.4	83.4	↑ 82.8
10	道路の右がわ(道路の安全な側)を1列で歩き、道路をわたるときには左右をたしかめている。		38.8	41.5	16.5	3.1	80.3	81.2
11	学級の話合いや、係の仕事、委員会の仕事などに取り組むことができている。		51.8	36.0	9.4	2.9	87.8	↑ 87.7
12	自分でめあてをもって、それに向けてがんばることができている。		41.2	39.8	13.7	5.3	81.0	↑ 76.5
13	家の人、友達、先生など、周りの人に対して、その人のことを思いやった話し方や行動をしている。		42.7	43.6	11.3	2.4	86.3	↑ 84.1
14	道徳の時間に勉強したことを自分の生活に生かすことができている。		39.6	44.1	13.4	2.9	83.7	↑ 81.6
15	外で遊んだり、体を動かしたりすることが好きだ。		64.3	20.9	11.3	3.6	85.2	↑ 82.4
16	早寝・早起きをし、朝ごはんを食べて登校できている。		43.9	34.1	16.5	5.5	78.0	83.8
17	給食では、自分が食べきれぬ量がわかり、バランスよく食べることができている。		45.1	36.7	15.8	2.4	81.8	↑ 81.4

## 令和6年度 徳島市大松小学校 学校評価について アンケート結果から考えられる今後の取組

### 学校目標

「人と自然を大切にし、未来をひらく知恵・心・体をもった子どもの育成」

### 重点目標

- ①確かな学力の育成
- ②豊かな心の育成
- ③健康な心と体の育成
- ④個に応じた特別支援教育・生徒指導
- ⑤保護者・地域から信頼される学校
- ⑥協働体制の強化と研修の充実

#### ①確かな学力の育成

- 児童の学習が「主体的・対話的で深い学び」となるよう、また教師が「子どもの学びの伴奏者」となるよう鳴門教育大学、徳島県教育委員会と協働し、学校力向上コラボレーション事業に取り組んでいる（令和7年度も継続）。今年度は、ICT機器を効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組んだ。「ノートやタブレット端末を用い、自分の考えを深めたり広げたりすることができる」児童の肯定的回答は84.4%、「学校は、学年に応じてタブレット端末や電気黒板等のICTを活用した学習の推進を図っている」と答えた保護者は82.5%であった。調べ学習や個別学習にもタブレット端末を積極的に活用し、意欲的に学習に取り組む姿や児童の理解が深まる姿が見られる。今後も、タブレット端末等のICT機器の活用を進め、従来のノートやワークシートのよさも生かしながら、児童が自主的・主体的に学習に取り組み、考えをさらに深める授業づくりを行う。
- 「授業中に先生や友達の話をよく聞いている」と答えた児童は88.7%で、児童が真面目に授業に取り組んでいることがうかがえる。今年度は、「めあてと振り返り」を意識した授業実践に取り組んだ。児童からは「自分の成長に気づき学習意欲を高めた」「もっと知りたい課題が見つかった」という感想が聞かれた。今後は、児童同士が意見交換したり発表したりする場面を取り入れるとともに、児童の発言を引き出す発問や意思表示させる手立て、タブレット端末を用いた発表等、多様な学びを深める指導を工夫していきたい。
- 家庭学習について、「忘れずに宿題をしている」児童は83.9%、「基礎的・基本的な学力が身につくような家庭学習をしている」という保護者の回答は87.7%であった。基礎学力の定着を図るためにも宿題や家庭学習の重要性を教職員と保護者で共通理解し、学年に応じた宿題の内容と量について検討したい。

#### ②豊かな心の育成

- 昨年度に引き続き、体験的活動や異学年交流等を通し、多面的に自分のよさに気づく活動や、給食室前にきらきらの木を掲示し全校でよいところ見つけを行った。11月には、県人権主事会（中部ブロック）が本校で開かれ、全学年・特別支援学級で授業を公開した。「自分や友達のよいところがいえる」と答えた児童の割合は84.4

%、「困っている友達がいたら助ける」と答えた児童は、93.8%であった。今後も、児童の好ましい行動を認め、価値付けを行うことで、児童の優しい気持ちがさらに育っていくよう指導していきたい。

- 「あいさつができています」児童は84.4%だったが、「子どもたちはすすんであいさつができています」と答えた保護者は56.4%であった。朝、正門前で児童会を中心としたあいさつ運動や下校時のあいさつ指導に加え、次年度は、学期に1回あいさつ運動週間を実施したいと考えている。また、立哨でお世話くださっている保護者や地域の方にも積極的にあいさつをするような働きかけをしていきたい。
- 「家の人や友達、先生など、周りの人に対して、その人のことを思いやった話し方や行動をしている」と肯定的回答をした児童は86.3%、「子どもたちは思いやりのある言動がとれている」と答えた保護者は86.5%であった。しかし、「最近、言葉遣いが悪くなってきた。」という声が聞かれたり、児童同士の会話の中に気になる言葉遣いや言動も見られる。その場での指導、継続的な指導を行っていきたい。

#### ③健康な心と体の育成

- 運動する児童とそうでない児童の二極化の傾向は続いている。スマホやインターネット、ゲームの普及による影響も大きいと思われる。身体面だけでなく、社会性を身に付けたり、認知能力を高めたりするためにも、体を動かすことは大切である。体育委員会が「野球やろうぜ」週間を実施したり、各学級でチャレンジランキングに挑戦したりして、運動に親しむ機会を設けている。体育の授業や外遊びで運動の楽しさを体感させるとともに、家庭への啓発もしていきたい。
- 「早寝・早起きをし、朝ごはんを食べて登校できている」児童は78%である。今年度も生活リズムチェック表を実施し、保護者の方からも感想を記入いただいた。児童は生活習慣を見直し、自分の健康について改めて考える機会となった。
- 「給食をバランスよく残さず食べることができている」児童は81.8%であった。毎年、2・4・6年生では、徳島市の事業「食育パワーアップ作戦」を実施している。今後も好き嫌いせず、バランスのよい食事の大切さを継続して児童に指導していく。

#### ④保護者・地域から信頼される学校

- 「学校生活は楽しい」と答えた児童は91.6%で昨年度より上回った。今後も、よりわかる授業、児童が意欲的に取り組む授業、安心して生き生き活動に取り組める集団づくりをさらに推進していく。今年度は、勝占認定こども園との連携・交流を積極的に行った。このような活動を通して、児童はコミュニケーション力や主体性、協調性などの力を身に付けていく。今後も計画的に交流や体験活動を取り入れていきたい。また、日々の児童観察やアンケート等からみられる課題に対しても、保護者や地域の方、関係諸機関と協力しながら、「チーム大松」として対応していきたい。
- 今年度は移動消防署を実施し、起震車体験や消火体験、けむり体験を行った。また、自然災害等の緊急事態発生時の対応として、勝占認定こども園と合同で避難訓練を実施した。地震や津波が発生した際の児童の引き渡し方法について定期的に確認し、よりスムーズに保護者に引き渡しができるよう検討していきたい。また、すぐそばに大人がいない時を想定した避難訓練等を実施し、児童が主体的に判断、行動し振り返ることができるようにしていきたい。
- 保護者による毎朝の立哨や夏休みの校区内パトロール、地域の方の見守りのおかげで大きな事故もなく、児童は安心して登下校し、生活することができた。保護者や地域の方より「交通マナーが悪い」「数人が道に広がって歩いている」「スマホを見ながら歩いている。危ない」等のご意見を何件かいただいている。交通安全指導を徹底していくとともに、様々な学習や活動を通し、安全に生活し、自他の命を大切に育っていききたい。

